

医療安全管理

誤薬防止対策

すべては、患者安全のために

1. 誤薬が生じる背景

① 誤薬・誤認とは

薬剤投与に関連したものをメディスンエラー
といい、誤薬報告事例の半数を占めています。

② 大半を占める誤薬・誤認（事故全体の80%）

「**点滴・注射**」に関連したもの（約**50%**）

「**与薬**」に関連したもの（約**30%**）

③ 誤薬・誤認の発生誘因

誤薬・誤認の誘因を分析

① 薬剤自体に関連するもの

② システムに関連するもの

③ 人間が関与すること



④薬剤自体に関連するもの

1. 名称類似性と外観類似性

名称類似性 ①前方部分の類似

②後方部分の類似

③前方部分と後方部分両方の類似

④同一商品名で一部分だけが異なる類似

外観類似性 ①薬剤本体の外観類似

②包装形態（ヒートシール）

2. 薬剤の規格設定バランス

3. 成分含有量の表示方法

⑤システムに関連するもの

1. 内服薬と注射薬の処方方法の不統一
2. 倍量処方
3. 処方オーダリングシステム

⑥患者持参薬